

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由 【指】【市】	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由【指】【市】		
			指定 管理者	市					
1 基本的な考 え方・姿勢	指定管理業務に係る基本的な考え方 や職員の姿勢が、当該施設の設置目的、 施設の特長及び市の求める指定管理者像に 合致しているか。	当該施設の設置目的、施設の特長及び 市の求める指定管理者像が配置職員に共 有されている。 現場責任者及び配置職員の考え方や姿 勢が、本市の意図するものとなっている。	A	A					
	団体等の持つノウハウ等の強みを活か した意欲的な創意工夫等を行う姿勢が見ら れるか。	利用者等のニーズの把握、利用拡大に 向けた取り組み、効率化の推進などに係る 創意工夫への積極的な姿勢が見られる。 当初の提案やその他具体的な目標等が あり、そのための取組を行っていく姿勢が 見られる。							
2 サービス向 上及び利用促進 の取組	サービス向上及び利用促進、地域の活 性化等、発展性のある独創的で魅力的な 取組が行われているか。	指定管理者の独創的で魅力的な取り組 みが、利用者サービスの向上や利用者 増、地域活性化などにつながっている。 自主事業の開催に当たっては、利用者 ニーズを反映させ、事業目的や効果を明 確にし、より多くの利用者に参加してもら えるよう、各種工夫を行っており、また、対象 別に多様な事業を実施している。	A +	A	【指】 【指定管理者の独創的な取り組み】 地域のニーズや地元住民からの協力が あって、各館で次のような新規事業を計 画・実施した。 「コーヒーの楽しみ方講座」を実施 (北、2/28) 「ぬいぐるみおとまり会」を実施(西、 2/18) 「健康教室」を実施(西、3/12) 「押し花・押し野菜で飾るランチョンマッ ト&コースター」を実施(南、2/11)		【指】 ・多数の新規事業を実施した。 ・ご意見箱に寄せられる意見に対し ての回答を利用者が見やすいよう 整理した。 ・SNSや公民館だより、地域ポータ ルサイトなど、多様なメディアをと おして広報活動ができた。		
	適切な利用者への接客・対応、社会的 弱者への配慮や、利用者の公平、公正な 利用が確保されているか。	施設のサービス水準を確保するため、 受付・電話対応・その他接客マナーなど、 標準的な業務実施手順や注意点をマ ニュアル化している。 利用者、特に社会的弱者にとって公平・ 公正に利用できるマニュアル及びシステム を構築・運用している。 職員の意見を取り入れながら、標準的な 業務実施手順等をスタッフミーティング等 において定期的に見直している。 わかりやすい言葉づかいや図、イラスト、 写真等を活用し、誰にでもわかる工夫 をして情報提供している。						【利用者等のニーズの把握、利用拡大に 向けた取り組み】 ・地区館3館で利用者アンケートを実施 (10/1～10/31) ・アンケートで認知度が低かった開館時 間の延長について、分かりやすく掲示を し周知した(北) ・図書館意見箱回答ファイルを設置し、 利用者の要望への対応を公にしている (2/2より開始)。 ・イベント毎にアンケートを実施し、ニ ーズの把握に務めている。  【公平な利用の確保】 ・全職員を対象に、人権啓発研修を実施 し(東京法務局監修)、配慮すべき利 用者対応について意識の徹底を図った。 また個人情報研修をとおして、配慮す べき利用者のプライバシー等について の知識を深めた。	
	利用者のニーズ等を収集し、それを反映 する仕組みや、トラブル、苦情処理の適切 な対応と未然防止・再発防止に向けた具 体的な方策がとられているか。	利用者アンケート等からサービスに係る 課題を抽出し、課題への対応策を講じて改 善するなどの工夫が見られる。 苦情処理の適切な対応が可能なマニ ュアルや体制が整備されている。 利用者が苦情や意見を述べやすいよ う、窓口(苦情係、ご意見箱の設置、HPで の受付等)を設置している。 利用者からの苦情や意見等が寄せられ た際には、内容を記録し、対応策を実施し ている。 日々の利用実績を記録し、定期的(週単 位、月単位等)に集計している。 利用実績、稼働率の推移を分析し、これ を踏まえた改善に取り組んでいる。							【広報】 ・図書館ホームページの他、講師のSNS (北図書館「コーヒーの楽しみ方講座」、 やタウンワーク、公民館だよりなど多 様な媒体での情報発信に務めた。 ・新規事業など一部のチラシやポスター は事業本部のデザインチームで作成し、 多くの利用者の関心を引く告知がで きた。
	ホームページや広報紙等を活用し、積極 的な情報提供による利便性の向上や利用 者増に向けた取組を行っているか。	誰にでもわかりやすいホームページや 広報紙等となっている。 潜在的な利用者の掘り起こしや利用 拡大に向けたアピールができるホーム ページや広報紙等となっている。 施設内の掲示板等を有効に活用して、 利用者にわかりやすく情報提供をして いる。							
3 施設の維持 管理等	施設及び設備の保守点検、備品等の管 理、施設清掃・植栽等の維持管理、計画的 な修繕等、法令等に基づいた適正な業務 計画となっており、実行をしているか。	事業計画書等に沿って、建物・設備・備 品・樹木等が適切に管理されている。 利用者が安全に利用できる状態が保た れている。 施設内及び敷地内の美観が保たれて いる。 ・市所有の備品と指定管理者所有の備品 が区別されており、備品台帳に記された備 品がすべて揃っている。 トイレ等の衛生状態が保たれている。 日常的、定期的に施設内外の巡回を行 い、事故や犯罪を未然に防止するよう に努めている。 鍵の管理方法が明確になっており、適切 に管理している。	A	A					
廃棄物の処理方法と合わせて、省エネ ルギー対策やごみ減量への取組等、環境 法令を踏まえた環境負荷低減への取組が 行われているか。	廃棄物の処理について、適正な考え方 や取り扱いとなっている。 環境法令を踏まえ、省エネルギー対策 やごみ減量に向けた実効性のある取組 みが行われている。								
業務の一部を外部委託する場合、業務 の実施や履行確認等、管理指導の体制が 整っているか。	外部への委託について、契約書等の書 類があり、契約内容が確認できる。 外部委託先からの業務報告が書面にて 定期的に行われており、履行確認がで きる。 委託先の現場代理人等に対し、必要に 応じて指導ができる体制にある。								

第一次・第二次評価  
(指定管理者・施設主管課による評価)

指定管理者評価シート(2/5)

令和4年度後期  
施設名:北図書館・西図書館・南図書館

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点[指][市]	今回の評価がBである理由 [指][市]	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由[指][市]
			指定 管理者	市			
市民サービスの向上 (共通項目)	4 緊急時の対応等	<p>緊急時・災害時の連絡体制、役割分担等が明確となっており、事態を想定した研修・訓練等の取組が行われているか。</p> <p>安全管理、衛生管理、危機管理等の徹底に向けたマニュアルの整備、全職員の対応力の平準化や意識啓発に向けた取組が行われているか。</p>	<p>事故発生時及び災害時の連絡体制や対応体制がマニュアル等で明確になっている。</p> <p>事故発生時及び災害時のマニュアル等に基づき、防災訓練等を実施している。また、事故対応及び災害対応に係る研修や事例研究等を実施している。</p> <p>発生した事故又は災害等の内容及び対応等について記録を作成している。</p>	A +	A	<p>[指] [緊急事態を想定した研修・訓練] ・各館において、防災、避難、防災設備操作訓練等の実施した。複合館の北図書館、南図書館に於いては自館での訓練のほか、他施設とも連携し、避難訓練・防災訓練を実施した。 ・3館合同で普通救命講習会を実施。 ・中央図書館での普通救命講習会に参加(2/28副館長1名・副責任者1名参加)</p> <p>[安全衛生管理への取り組み] ・各館、「平塚図書館における安全衛生教育チェックシート」を元に安全衛生教育を全職員、実施。実施記録を保管。 ・衛生推進者を全館に配置</p>	<p>[指] ・危機管理研修・訓練において、全職員が受講している。 ・3館合同の普通救命講習を実施し、令和4年度内で計17名が受講修了した。</p>
	5 職員配置等	<p>実施業務に即した職員配置等(人数、専門職、勤務体制、責任体制)であり、法令等に基づく雇用・労働条件等を管理監督する体制を有しているか。</p> <p>従事職員の資質向上や人材育成に係る取組は、効果的かつ適正なものであるか。</p>	<p>事業計画書・水準に沿った職員体制であり、管理職は、他の職員の業務状況を適切に把握している。</p> <p>報告書等で職員配置等を確認することができる。</p> <p>常勤・非常勤職員に関わらず、職員の研修計画を作成し、内部研修を実施しており、外部研修や勉強会に参加できる環境を整えている。また、必要に応じて、職員の専門技術を高めるため、事例検討会、勉強会や意見交換会等を開催している。</p>	A +	A +	<p>[指] [職員体制] 各館で当初の人員配置計画に基づいた人員配置をしている。年度中の離職率は2%にとどまり、ほぼすべての職員が勤務を継続している。 責任者は全員有資格者で、図書館勤務経験も1年以上の人員を配置している。 入社後の司書資格取得について month の調整や終了後のお祝い金制度などフォロー体制を敷いている。(令和4年度2名図書館司書取得) その他、文化庁主催著作権講座への参加や16mm映写機技能講習、衛生推進者講習など、図書館の管理・運営にかかわる研修に積極的に参加をしている。</p> <p>[職員の研修について] 各館において、入社時の研修や初任者(入社後4か月)を受講。 個人情報や人権研修、危機管理にかかわる研修など、必須とされるものについては原則全員参加にて実施をした。 そのほか、適宜必要とされる業務についての内部研修を各館で行い、市や県、関連団体で実施される外部研修にも積極的に参加をした。詳細は次のとおり。</p> <p>(北) 内部研修 ・ビジネススキル研修(10月) ・ブックトーク研修(10月) 外部研修 ・図書館の学校(10月) ・ブックトーク講座(11月) ・福祉ボランティアスクール(12月) ・子ども読書活動推進フォーラム(12月) ・大人のためのお話し会(12月) ・ブックスタートボランティアステップアップ研修会(1月) ・衛生推進者養成講習(1月) ・平塚市図書館職員研修(行政支援・庁内連携)(1月) ・神奈川県図書館協会研修会(3月)</p> <p>(西) 内部研修 ・選書業務充実のための研修(12/2:2名、12/22) ・ブックスタートボランティア研修(1/19) ・ブックトーク研修(3/15)</p> <p>外部研修 ・令和4年度図書館等職員著作権実務講習会(10/20, 10/21) ・令和4年度障害者サービス担当職員向け講座・体験講座(12/6, 12/7) ・16ミリ映写機操作技術認定講習会(12/7)</p> <p>(南) 内部研修 ・接遇の基本、言葉遣いに関する研修(特別整理期間中) ・ブックスタートボランティア研修(1/19) ・公共図書館における行政支援・町内連携について(1/31)</p> <p>(外部研修) ・令和4年度図書館等職員著作権実務講習会(10/20, 10/21) ・令和4年度障害者サービス担当職員向け講座・体験講座(12/6, 12/7, 12/8)</p> <p>[市] 図書館業務の根幹は「人材」であり、毎月、継続的に複数回の研修(via内部講師や、外部出張研修)に参加し、従事職員の資質向上・人材育成に力を入れている点は非常に高く評価できる。また、指定管理者の経験やノウハウを活かし、限られた職員数でも業務内容説明書の業務範囲を適切に実施しており、日常業務をはじめ、突発的なトラブルや業務量増加にも不足なく対応している。</p>	<p>[指] ・令和4年度配置人員39名うち退職者1名、離職率2%に留まった。 ・入社時の研修、初任者研修、個人情報、人権啓発研修、危機管理、避難訓練など基本的な研修の全職員受講を徹底している。 ・中央図書館から案内のあった研修をはじめ、県や関連団体等主催の外部研修に積極的に参加した。 ・選書会議や合同の研修など全館の情報交換・意見交換の場を創った。 ・zoomを活用し、会議の機会を増やした。</p> <p>[市] 左記のとおり、特筆すべき取組を評価し、前回よりランクアップした。</p>

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由 【指】【市】	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由【指】【市】
			指定 管理者	市			
6 その他	市、関係機関、地域団体等との有効な連携・協力体制を確保しているか。	協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行なわれるなど、責任者間での十分な連絡が行われている。 地域住民、町内会、自治会等の地域の団体、関係機関などの関係団体との連携を図るため、情報交換を行っている。 地域住民の意見・要望を把握している。 人的資源や場所の提供を通し、各種地域活動へ参加している。	A	A			
	管理運営にあたり、関係法令等の遵守、情報公開及び個人情報保護に対する適切な運用方針が示されており、実行されているか。	各種規程及び体制が整備されている。 制度を理解し、法令を遵守している。また、法令遵守に対する職員の意識啓発に向けた取り組みを行っている。 個人情報の取扱いに関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。 個人情報を収集する際は必要な範囲内で適切な手段で収集し、目的以外に使用していない。 情報公開に関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。					
経費の節減等（共通項目）	1 適正な経理事務等	当該年度の経費の積算や執行に係る考え方が具体的に示され、適正な経理処理が見込めるか。					
		当該期間の収支は、事業計画等に基づく積算の根拠が明確に示され、無理や漏れ等のない確実なものであるか。	A	A			
	2 コスト縮減等	民間のノウハウが発揮され、創意工夫による効率的な管理運営の取組や、コスト縮減に向けた取り組みが行われ、高い実効性が認められるか。	A	A			
1 資料収集	○図書館の基本サービスである資料収集を業務内容説明書に沿って指定管理者のノウハウを活用しながら実施し、魅力的な資料の収集につなげているか。	○資料収集の予算配分、目的及び目標を明確にし、計画どおり資料を収集しているか。 ○ニーズ把握など民間ノウハウを駆使した収集をしているか。 ○市民の「お役立ち図書館」として、生活や課題解決に役立つ資料を積極的に収集しているか。 ○費用対効果を意識し、継続利用が見込める需要の高い資料の複本購入をおこなっているか。	A	A			【指】 ・10月より、月に1回地区館選書担当者参加の選書会議をZOOMで実施。地区館間での購入図書調整や、選書についての情報共有を実施（今年度5回実施） ・西図書館において、北、南館長が訪問し、選書担当者や選書の流れについて相互確認をした。 ・予約多数図書の複本購入を開始 ・年度末にサクラ書店にて店頭購入を実施 ・継続利用が見込まれる予約多数資料について、地区館間の選書会議に諮って複本購入の目安を定め、利用者に速やかに資料を提供できるように取り組んだ。  【市】 前回、Bランクであった課題に取り組む、資料収集計画を作成した。館内の蔵書分析結果をもとに、市の収集方針を理解した選書を心掛けている。また、複本購入にも積極的に取り組み始めている。さらに、予算執行上、年度末の図書発注は通常できなかったものを、店頭にて購入することで、切れ目のない発注が可能となったことを評価し、ランクアップした。
2 蔵書管理	○蔵書の提供・管理を指定管理者のノウハウを活用しながら計画的に実施しているか。	○魅力的な書架となるよう、サインや書架配置等の改善を定期的実施しているか。 ○各館の収納可能冊数に見合うよう、必要な除籍を計画的に実施しているか。 ○書架状況を把握・分析し、バランスの取れた蔵書となるよう計画を立てているか。	A +	A	【指】 【サインや書架配置等の改善】 ・各館、サインや書架配置の見直しを行った（北） ・計画的に除架、除籍をし、書棚にゆとりを持たせており、空いたスペースに図書を表紙が見えるよう飾るなど工夫をした（西） ・児童書架の面出し配架を増加させ、ヤングアダルトコーナーを移動、時代小説コーナーを拡充し、看板などを一新した。（特別整理期間中に実施） （南） ヤングアダルトコーナーのサインを一新。ロゴも作成し掲示。（特別整理期間中に実施） 地域資料コーナーの見出しを追加し、図書が選びやすくなるよう工夫した。（特別整理期間中に実施） ・中央館より承認をいただき、ぶくまるの新デザイン（サッカー、囲碁、海など市に関連が深いデザイン）を作成し、掲示物や広報物に活用した。		【指】 ・令和4年度をとおして、電源使用可能な閲覧席の増設、使用できないビデオ等再生機器の撤廃など館内の整備をした。 ・収集計画にともない、除籍も計画的に行い、適切な書架密度を維持した。 ・季節ごとの展示では、装飾物も工夫し、多くの方の目に留まるようスペース全体の充実を図った。 ・ぶくまるの新規デザインを作成し、展示や広報に活用した。

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由 【指】【市】	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由【指】【市】
			指定 管理者	市			
個別項目	3 読書活動推進事業	○読書普及や図書館利用を促進するため、各図書館内で積極的に事業を実施し、成果を上げているか。  ○図書館の役割につなげて市民の暮らしや課題解決に役立つイベントを積極的に開催しているか。	○平塚市子ども読書推進計画(第4次)に沿った、年齢に配慮したイベントを定期的に開催しているか。  ○図書館の役割につなげて市民の暮らしや課題解決に役立つイベントを積極的に開催しているか。	A +	A +	【指】 【児童を対象とした読書推進イベント】 ・地区館3館共通で、「北・西・南図書館合同!!読書週間スタンプラリー」を実施(10/22~11/27) (北) ・日曜ファミリーおはなし会 ・神田中学校区子どもおはなし会 (西) ・「ぬいぐるみおとまり会」を実施 (南) ・「南図書館ビブリオバトル」を実施(1/7) 【図書館の役割、市民の課題解決のイベント】 (北) ・「コーヒーの楽しみ方講座」 (西) ・「司書のお仕事体験会」を実施。中学生も対象とするなど参加者拡大を図り、中学生各1名の参加もあった ・「健康教室」を実施  (南) ・「司書のお仕事体験会」を実施。中学生も対象とするなど参加者拡大を図った。参加者が選んだおすすめ本を展示も実施 【読書普及と図書館利用の促進】 ・本の福袋の実施 ・北:52袋(104冊) ・西:一般:23、児童36 計59袋(118冊) ・南:一般・児童 計72袋(144冊)  【市】 委託前には実施されていない指定管理者独自の新たな講座・イベント(ex.コーヒーの楽しみ方講座や体験教室、ぬいぐるみおとまり会など)を多岐にわたり複数回開催し、好評を得ており、地区図書館の活性化や利用者サービスの向上に寄与している点は高く評価できる。 また、イベントの周知方法にも工夫が見られ、特に法人本部のデザインチームによるポスター作成による相乗効果もあり、どのイベントも定員を大きく上回る参加応募が起きている。 さらに、イベント参加者のニーズ収集にも努めており、次に活かしている姿勢も高く評価している。	【指】 地区館それぞれが、地域のニーズ・課題に応じたイベントを企画し開催した。定員を超える応募のイベントもあり、またイベント終了後に実施したアンケートの結果を見ても参加者の満足度の高いものであった。  【市】 左記のとおり、多岐にわたるイベント開催を高く評価し、ランクアップした。
	4 学校等支援・学校連携	○学校や団体等に対して、図書資料を活用した支援や連携のサービスを積極的にアピールし、展開しているか。	○学校・団体等に対する図書を活用した支援(団体貸出)を積極的にアピールし、団体に対する貸出数の増加につなげているか。  ○学校からの依頼、要望に対し、真摯に対応し、支援・学びのサポートにつなげているか。	A	A		
	5 地域連携・ボランティア	○地域団体、社会教育機関、民間団体等と協力・連携し、地区図書館を地域住民の学びと子どもの育ちの支援につなげているか。	○地域団体等からの依頼、要望に対し、真摯に対応し、受入しているか。  ○地域団体等との協働事業を提案、開催するなど、地域に頼られる図書館として発信しているか。	A +	A +	【指】 【地域連携】 (北) ・神田公民館まつりに参加、リサイクル資料の提供と工作会を行った ・神田中学校区子ども読書活動推進協議会と、おはなし会を実施した。 (西) ・旭北公民館より、旭地区のかたるた等の地域資料の寄贈を受け、かたるた大会に合わせて展示を実施した ・山城子どもの家にリサイクル図書を譲渡 ・旭北公民館にて行われた「旭北公民館まつり」に参加し、リサイクル本、読書通帳を配布 ・旭南公民館にて行われた「旭南公民館まつり」に参加し、リサイクル本、読書通帳を配布  (南) ・花水公民館からの依頼で「花水子育て講座 親子で楽しむ読み聞かせ～心をはぐくむ絵本との出会い～」の講師として講座を実施 ・花水公民館にリサイクル図書を譲渡 ・なぎさふれあいセンターにて行われた「第11回ふれ愛・なぎさ祭り」に参加しリサイクル本配布、南図書館クイズ、役者見立て東海道五十三驛パネル展を行った。  【市】 公民館まつりへの参加・イベント開催により、公民館と連携し、地域の活性化に寄与している。また、花水公民館主催の子育て講座に講師を派遣したり、図書館を会場とした各種地域団体との共催・協力事業を積極的に働きかけている。	【指】 近隣の公民館との連携を深め、公民館まつりをはじめとした地域との交流イベントの機会を持つことができた。 公民館便りの掲載や、公民館イベントの図書館内の告知スペースの設置など、相互の情報発信の場としての役割を創出できた。  【市】 地域の学びと育ちの支援や頼られる図書館として、結果に結びつけるまでには時間がもう少し必要であるが、積極的に地域に向きPRし、団体に向き合う姿勢があり、期待値を込めてA+評価とする。

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		今回の評価がA+である 特筆すべき点【指】【市】	今回の評価がBである理由 【指】【市】	対前回比でランクアップ 又はランクダウンした 理由【指】【市】
			指定 管理者	市			
コメント	<p>・アピールしたいポイント ・課題または今後の改善点など</p>	<p>【指】 【全館共通事項】 ・令和4年度をとおして各館人員の定着が見られ、図書館司書資格者・経験者(1年以上)の安定的配置ができた。また職員定着率も全体で98%となった。 ・危機管理研修や訓練について、3館合同での救命講習の実施など、充実した内容で実施することができた。 ・各館、事業計画書での計画以上のイベントを開催した。各イベントともに利用者からの反響も大きく、募集開始直後より申し込み多数で定員いっぱいでの開催となった。 ・地域との連携も深まり、公民館まつりをはじめとした地域のイベント参加をすることができた。</p> <p>【北館】 ・計画的に除籍作業を進め、収納可能冊数に見合った蔵書維持に努めている。除籍により空いたスペースを活用して、新しい本の表紙を見せるように配架したり、ミニ展示を行うなどして利用促進を図っている。 ・地域の中学校子ども読書推進協議会と共催事業を開催したり、展示スペースを活用してもらったりするなど連携が進んだ。 ・外部研修・内部研修に積極的に参加し、スタッフの資質向上に取り組んだ。 (課題) ・学校や地域団体との連携について、団体貸出や共催事業の実施など拡充する必要がある。 ・おはなし会や一日図書館員などの事業について、利用者が参加しやすい日程に改善する予定である。</p> <p>【西館】 ・利用者にとって資料を手に取りやすい工夫として、時代小説コーナーを広くとり、手に取りやすい高さで展開、面出しを増加、看板を一新した。 ・ヤングアダルトコーナーはカウンター前にあったが、利用の多い学習席付近のVHS架を整理し、看板や面出しを設け、手に取りやすい工夫をした。 ・児童書架を整理し、分類ごとに面出しスペースを設けるなど、展示以外で目につき、手に取りやすい工夫をした。 ・近隣の学校との図書館ガイダンス等での連携の際、児童や先生方に図書館活用や読書に親しむ機会を提供したほか、団体貸出制度等の新たな取り組みをPRした。 ・旭北公民館、旭南公民館との広報協力や公民館まつりの参加、知恵袋バンクを活用した企画などを通して、地域連携を深めた。 ・シフトの時間が調整しやすいことから、閉館後の時間を活用し、「ぬいぐるみおとまり会」を開催した。大きな反響があり、新たな方法で児童に図書館や読書に親しむ機会を提供できた。 ・地域の講師を知恵袋バンクを活用して招き、課題解決や生涯学習に役立つ取り組みとして「健康教室」を開催した。新たな方法で大人向けに図書館や読書に親しむ機会を提供するとともに、図書館の活用方法の周知に役立った。 (課題) ・直接の来館が難しい遠方の学校や団体との連携をどのように行うかが課題である。 ・利用団体に団体貸出をPRしているが、利用登録に結びつかない。読み語り支援用カード等との差別化や地区館団体登録のメリットを明確化するために、団体貸出用資料の整備やどのようにPRし、登録および貸出に繋げるかが課題である。</p> <p>【南館】 ・ヤングアダルトコーナーのサインを一新し、新しく作ったロゴを掲示したことでコーナーの場所が目立つようになった。 ・花水公民館での講座実施、リサイクル本譲渡や、ふれ愛・なごさ祭りへの参加を行うことで地域連携を深めた。 ・児童を対象としたビブリオバトルの実施、中学生以上を対象とした「司書のお仕事体験会」を実施することで、読書推進と図書館に親しんでもらう機会に繋がった。 ・「押し花・押し野菜で飾るランチョンマット&amp;コースター」を実施することで、図書館をPRし利用拡大を図った。 (課題) ・地域の複数団体向けにリサイクル本配布を行いたい。選んでいただくためにリサイクル図書を置く部屋がないため、どのように行うかが今後の課題。 ・団体貸出の実績を上げられない状況がある。団体貸出に供する資料の整備、サービスについてのPRを効果的に行うことを今後の課題とし、実績に繋がりたい。</p>	<p>【市】 令和4年度前期の課題とした「蔵書管理」の現状の把握・分析を進め、経験豊富な担当者がフォローしながら計画的な資料収集を実施しようとしており、図書館(蔵書)魅力アップにつなげようという努力が見受けられる。また、事業展開については、市が実施していた事業の踏襲のみならず、新たな展開が数多くみられ市民サービスの向上・図書館の魅力アップに寄与している。 確実にサービスを高め、課題を解決し、今後の改善につなげている姿勢は、図書館協議会の委員や関係団体のご意見からも、高い評価を得ている。 (課題) 委託以前からの課題ではあるが、蔵書の更新、団体(学校)支援の拡充について、引き続き取組をお願いしたい。</p>	<p>【指】 人員も定着し、職員研修の充実や外部研修への参加、イベント実施など取り組みを拡大させることができた。 3館合同での研修(選書、AED研修)や会議(担当者連絡会、選書会議)も実施することができ館間の連携体制を強化することができた。 イベントについては北館の珈琲講座、西館のぬいぐるみお泊り会や健康講座、南館のランチョンマットワークショップなど、事業計画以上の企画内容・実施回数で催行できた。各イベントとも、利用者からの反響が大きく、定員いっぱいの申し込みをいただき応募者も列になるほどの反響であった。今後も、イベントをとおしてより多くの市民の方に図書館サービスについて興味を持っていただけるような取り組みをしたい。 また上半期課題となった蔵書構成にかかわる職員間の知識や経験の共有についても取り組むことができ、経験豊富な職員の情報共有により、館間のフォローをできる体制を取ることができた。</p> <p>課題としては、団体貸し出しの普及をはじめとした学校図書館との連携の拡充について、多くの利用になるよう広報等進めていきたい。</p> <p>【市】 全体としては、業務内容説明書を理解し、水準を満たした運営を実施しており、地域とも連携したイベントを開催するなど、積極的な姿勢が感じられる。また、1年目にもかかわらず、「地域に根付いた信頼される図書館」に変わりつつある。特にイベント開催においては、民間のノウハウを活かした新しい取り組みを次々に実践し、参加者も定員いっぱい、アンケートでも高評価を得ており、新規利用者の開拓にも一躍買っていると推測される。 中央図書館(市)との連絡・相談も密に行っており、市の方針に根差した方向性をもった運営ができている。市民の反響も良く、苦情対応等も適切である。また、施設運営上の課題にも解決に向け目に見える形で日々の業務に組みこんでいる点が見て取れる。 市が期待する図書館運営の専門会社としての民間ノウハウを十分発揮し、業務水準を上回る成果をあげているが、さらなる目に見える具体的な成果を期待したい。</p>			
					総括	<p>【指】 人員も定着し、職員研修の充実や外部研修への参加、イベント実施など取り組みを拡大させることができた。 3館合同での研修(選書、AED研修)や会議(担当者連絡会、選書会議)も実施することができ館間の連携体制を強化することができた。 イベントについては北館の珈琲講座、西館のぬいぐるみお泊り会や健康講座、南館のランチョンマットワークショップなど、事業計画以上の企画内容・実施回数で催行できた。各イベントとも、利用者からの反響が大きく、定員いっぱいの申し込みをいただき応募者も列になるほどの反響であった。今後も、イベントをとおしてより多くの市民の方に図書館サービスについて興味を持っていただけるような取り組みをしたい。 また上半期課題となった蔵書構成にかかわる職員間の知識や経験の共有についても取り組むことができ、経験豊富な職員の情報共有により、館間のフォローをできる体制を取ることができた。</p> <p>課題としては、団体貸し出しの普及をはじめとした学校図書館との連携の拡充について、多くの利用になるよう広報等進めていきたい。</p> <p>【市】 全体としては、業務内容説明書を理解し、水準を満たした運営を実施しており、地域とも連携したイベントを開催するなど、積極的な姿勢が感じられる。また、1年目にもかかわらず、「地域に根付いた信頼される図書館」に変わりつつある。特にイベント開催においては、民間のノウハウを活かした新しい取り組みを次々に実践し、参加者も定員いっぱい、アンケートでも高評価を得ており、新規利用者の開拓にも一躍買っていると推測される。 中央図書館(市)との連絡・相談も密に行っており、市の方針に根差した方向性をもった運営ができている。市民の反響も良く、苦情対応等も適切である。また、施設運営上の課題にも解決に向け目に見える形で日々の業務に組みこんでいる点が見て取れる。 市が期待する図書館運営の専門会社としての民間ノウハウを十分発揮し、業務水準を上回る成果をあげているが、さらなる目に見える具体的な成果を期待したい。</p>	

評価について

A+	継続的に適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
A	継続的に適切・良好である。
B	一部に適切・良好でない部分があったが、改善済み又は見込みである。
	水準に未達の場合

判断の目安に対する指標

良	水準を満たしている。
可	支障があった。迅速に改善し、対応に問題はなかった。
不可	重大な支障があった。
	支障があった。改善されていない。
	支障があった。改善への対応が著しく遅滞または不十分で、不適切であった。